

第135回例会 1962.2.13 (火) 晴後雪

齋藤求画伯

例会場 鶴岡市一日市町 ひ さ ご や (707番)  
 事務所 鶴岡市馬場町十日町口 商工会議所内 (1563番)

次 回 例 会

2月20日

会長 佐藤伊和治君  
 幹事 三井賢二君  
 理事 齋藤(得)君、小池君、佐藤(伊)君  
 今間君、張君、池内君、三浦君

ロータリー記念日 会長挨拶

感謝状の贈呈

○幹事報告

会報到着 山形西、横浜西、新庄、花巻、天童な  
 にわ、八戸(東)、新律、弘前(東)  
 石巻(東)、本庄(仮)

尚石巻東からは創立記念号として30頁に亘る冊子  
 が送られて参りました。写真を全頁に使用された  
 立派なものです。  
 又本荘仮からの会報は当クラブでは第1回にいた  
 だいたものです。一層の発展を期待します。

○出席報告

本日の出席	出席数	39 48名	無届	菅原君、阿部君
出席率	81.25%		届出	今間君、金井(勝)君 岩網君、佐藤(貞)君 齋藤(栄)君、佐藤(貞)君、黒崎君(病欠)

前回の修正	前回出席率	91.67%	メ	三浦君
修正出席数	2名		ー	酒田R.C
修正出席率	95.83%		ク	
			ア	武田君
			ッ	酒田R.C
			ブ	

○例会場 日時等変更

仙台(2月20)  
 仙台南(2月22日) 2月23日(金) P.M12.30より  
 仙台北(2月21日) 於仙台精養軒

○司 会 三 浦 会 長

○ゲ ス ト 益田茂雄君、村上R.C

○ソ ン グ 奉仕の理想、リーダー 広瀬君

○仮クラブ誕生

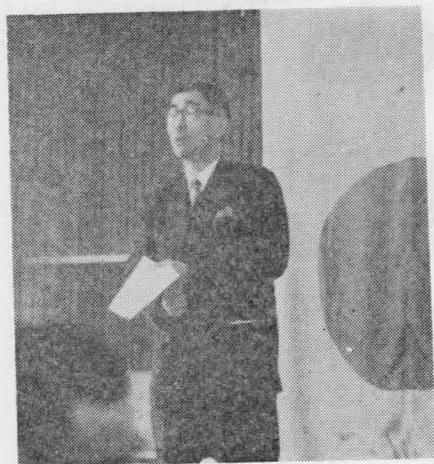
江別仮R.C……毎(土) PM12.30  
 於 江別市パーラーデリーミルク

○連絡事項

会長より、次年度の役員詮衡について、詮衡委員のしんちよう審議の結果詮衡委員(金井国君)の報告により会長、幹事、理事役員が推撰されました。

○チャーター案内

八日市R.C……4月22日(日)  
 水 口 於 滋賀県、水口町水口農協  
 登録A.M10.00 迄2,5000  
 御希望の方は幹事まで御連絡下さい。



出羽三山の信仰

1960年に日本全国から3山をおとずれたひとは30万を越えたといわれるが、その大半は信仰による

登山者だった。

日本には昔から高山を信仰する習俗があつた。しかし高さだけを問題にすれば、3山のうちの月山は1,980メートルで、東北では第8位。

湯殿山は1,504メートルで20位以下。羽黒山は419メートルで、もの数ではない。それにもかかわらず、3山がもっている信者層の厚さと広さは、全国でも5指のうちにはいつている。

その理由はいろいろあるが、3山のふもとの村々——特に手向に住む山伏の活動を第1にあげなければならない。鳥海山が出羽富士とよばれるくらい美しい姿をしており、高さからいつても東北では2位という高位を保っているにもかかわらず、信仰層がうすくて狭いのは山伏の活動がすくなかつたからである。

もう一つは、酒田や加茂の繁栄につれて、日本海を航行した千石船、5百石船の船頭衆が、荷上げや荷おろしの余暇をみて羽黒山に参詣したことも、羽黒山の名が遠くにひろまつた原因になり、3山における羽黒山の勢力をつよめる結果となつたのである。

羽黒山の山伏は平安時代の中ごろから全国を股にかけて活躍した。羽黒山伏に関する記事をのせた最も古い文献は「慈恵大師伝」であるが「東鑑」や「北条九代記」「太平記」「源平盛衰記」などをみても、平安末期から鎌倉時代における羽黒の山伏やミコの活動ぶりがうかがえ、守護、地頭でさえ羽黒山伏を支配する権利がなかつたことなどがわかる。「義経記」によると、加賀国以北は羽黒山の勢力範囲とみとめられていたようである。

羽黒山の声望がそのように高まつたのは山伏の活躍によるものであり、山伏がそのように活動できたのは、多数の信者のバックと広大な領地があつたたまものである

一口に山伏といつても「もろともに哀れと思え山桜、花よりほかにしる人もなし」という和歌の作者として知られている行尊のように身分も高く、天皇の側近に召さ

れた者もあれば、ふだんは農業を営んでいる者、口寄せミコをしている女、オンギョウとよばれる者など、さまざまである。特にかわつているのはオンギョウで、彼らはミクロという仏が、人類救済のために56億7千万年の後に出現するのをミイラとなつて待つことを願い、数年間にわたる穀断ちをし、木の実や草の根を食つて脂肪をおとし、自ら築いた塚の中で念仏をとこなえるのである。これを入定という。

その後3年にして発掘するとミイラになつており、ミクロ仏が出現するとミイラも復活すると信じたひとたちである。

全国に24体のミイラがあり、庄内だけでも6体に及んでいるが、オンギョウが入定している塚は無数に存在するのであるから、今後もミイラが出現する可能性は大きい。現に昨年度は村山市と茨城県で一体ずつ出土している。しかもその大部分が3山関係のものであることも明らかにされている。

それは自殺行為にすぎぬとか、迷信にすぎないと笑うひともある。現代のわれわれがこんなことをしたのであれば、そういう批判をし、制止もしなければなるまいが彼らの生きた時代にあつては、宗教的信念にもとづく聖行と信じられ、それゆえにこそ民衆も支持したのである

このような信仰をつちかつた3山を、われわれは観光的な面から利用することのみを考えず、人間の靈魂の故郷として再認識すべきではあるまいか。

○親睦委員

張君会員の写真のアルバムを作つて居ります。それにはために会員の名刺1枚親睦委員まで御推呈願います。

○ニコニコ箱

齋藤(得)君忘れものをした。

- 金井(国)君
  - 海東君
  - 谷口君
  - 佐藤(仁)君
  - 安藤君
- } 早退

○張君酒井さん御冥福を祈る。

○本日の献立

- 平目、赤えび刺身
- 鱸、焼物、大根おろし
- 豚肉、油揚、ねぎ、粕入、吸物